

《どうでもいい話、その 616》

どうでもよくない皆様へ

こんにちは！

甲子園の全国高校野球選手権大会は107年ぶりに慶応高校が優勝しました。各試合勝ったほうのチームは、その栄誉をたたえて校歌が歌われます。その校歌の歌詞ですが、聞くとその校舎の建っている周辺の情景を詠いあげるのが多く、山とか川とか城などの名前が出てきます。有名な名山、名川であれば、かなり遠くに離れたところにあっても「〇〇山を背なに負い・・・」などと、すぐそばに持ってきます。不動産屋が建物を販売する場合、少し離れていても「駅・商店・学校が近い！」などとPRして客を呼び込もうとしているのと同じようなことをします。そのうえ「学校近くの川はとてもよい川で、清き流れに洗われて、心正しく、希望に燃える生徒たちが育っています」などときれいごとばかりをアピールします。ざっくばらんに現状の情景をそのまま校歌にするなら「♪ 名山名川はるかに遠く、交通不便のわが学舎、隣りにそびえるごみ焼却場、集うわれらは偏差値40、ああ、見よ、われらが行くて ♪」なーんてなるでしょう。

岩波より

* 手前みそですが、一昨日の神戸新聞投稿欄に、また私のどうでもいい文が掲載されましたので、添付ファイルにてお送りします。

女性活躍は欧米比較ではなく

岩波 義孝 78歳 いる。

(無職 神戸市垂水区)

したがって、スポーツ、

神戸新聞社の調査による 囲碁・将棋など、男女分け
と、兵庫県内上場企業の全 て行うものもある。

役員に占める女性の比率は 何でも欧米と比較してど
10・4%にとどまっている うのこうのではなく、日本
とのこと。 は、女性の意見を聞いて、

確かに日本では他にも議 わが国なりのしつかりとし
員、裁判官、大学教授、医 た考えを持つべきである。
師などの女性の割合は20% そして、何ごとも自由に
ほどで、他の先進国と比べ 能力を発揮できるジェンダ
ると少ない。 ーフリーの環境を整えたら
う。

しかし、男と女は一般的 えで、プレッシャーになら
に、肉体、精神、容姿、声 ないよう自主性を尊重し、
など生物学的に異なり、ま 能力と自信のある女性は、
た力仕事など向き不向きも さまざまな分野で大いに活
あって、すべて男女平等に 躍していただきたい。
すると負担を感じる女性も